

題:一つの中国という虚妄(清朝崩壊から中華人民共和国の成立、そして現在の状況)

志雲海において、みんなで近代日本の歩みを相当勉強してきました。そして、そこには支那大陸やシベリアでの出来事も頻りに登場しました。そこで、今回は大陸での近代史を少しおさらいしてみましょう。

皆さんの知識を元に、視点を漢人の側、大陸の側に移して、日本及び周辺の民族を俯瞰してみると、また違った支那大陸の姿が見えてくると思います。



まずは、上の地図をご覧ください。図書館で借りた小中学生向けの「学研:世界の地理」より抜粋しました。全く中国共産党のプロパガンダのまま、歴史を抹殺し、地理だけに特化した異様な地図になっています。以下、違和感を列記します。

- ① 昔と違い、都市名が音表記になっています。漢人その他の民族地域の違いがこれではわかりません。
- ② 地理とは言え、新疆ウイグル自治区もチベット自治区も破線が引かれていません。一つの中国です。
- ③ 説明文には、漢人とともに 55 の少数民族が居住しているとありました。漢人支配を正当化しています。

このように高校で世界史を選択しなければ、脳内地図は上の地図のままとなることは致し方ないことです。

では、これから、中華人民共和国。そして中華民族というプロパガンダ国家の虚妄を少しずつみんなで暴いていきましょう。

今回は地図を見ながら、民族のイメージをつかむ事を試みます。

では、先ほどの地図から中学教科書上の幕末の世界地図へと時代を遡ります。

「清」＝「中国(中華人民共和国)」なのか？ 悪辣なイメージ操作。日本の中学教科書。

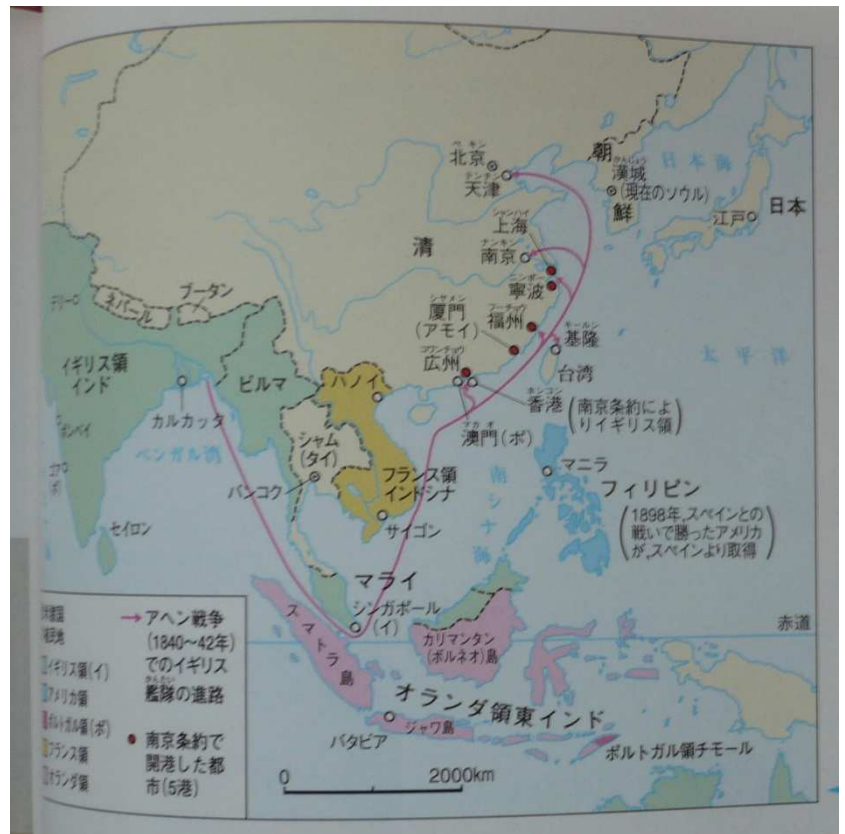
これも幕末の世界情勢を描いたものですが、清とだけ表記されています。

ネパール・ブータンなど当時は国家ですらない古代的王朝統治地域です。なぜ、わざわざ破線で書き込むのか？

この「清」は先の「中華人民共和国」にモンゴルを足した地図を破線に重ね合わせるとほぼ同じ地図になります。

しかし、大清帝国はもちろん近代国民国家ではありません。国境線も曖昧ですし、モンゴルは征服されていた訳でもありません。

これも小中学生へのプロパガンダなのです。巧妙に一つの中国を刷り込んでいきます。すでに日本人も洗脳されていることは明らか。



では実際の清朝における民族の統合とはどういうものであったか。地図で概略を説明していきます。

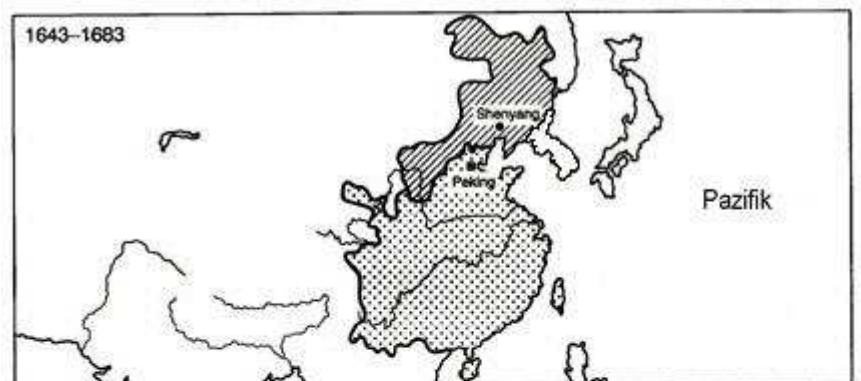
大清帝国の始まり

秀吉が朝鮮を攻めた事で明国は多大な戦費を使い、国が疲弊します。その後、朝鮮北方の女真族が力の均衡をついて勢力を増し、金王朝を建てます。これが満州王朝の始まりであり、清朝が興った遠因は間違いなく「日本」でした。

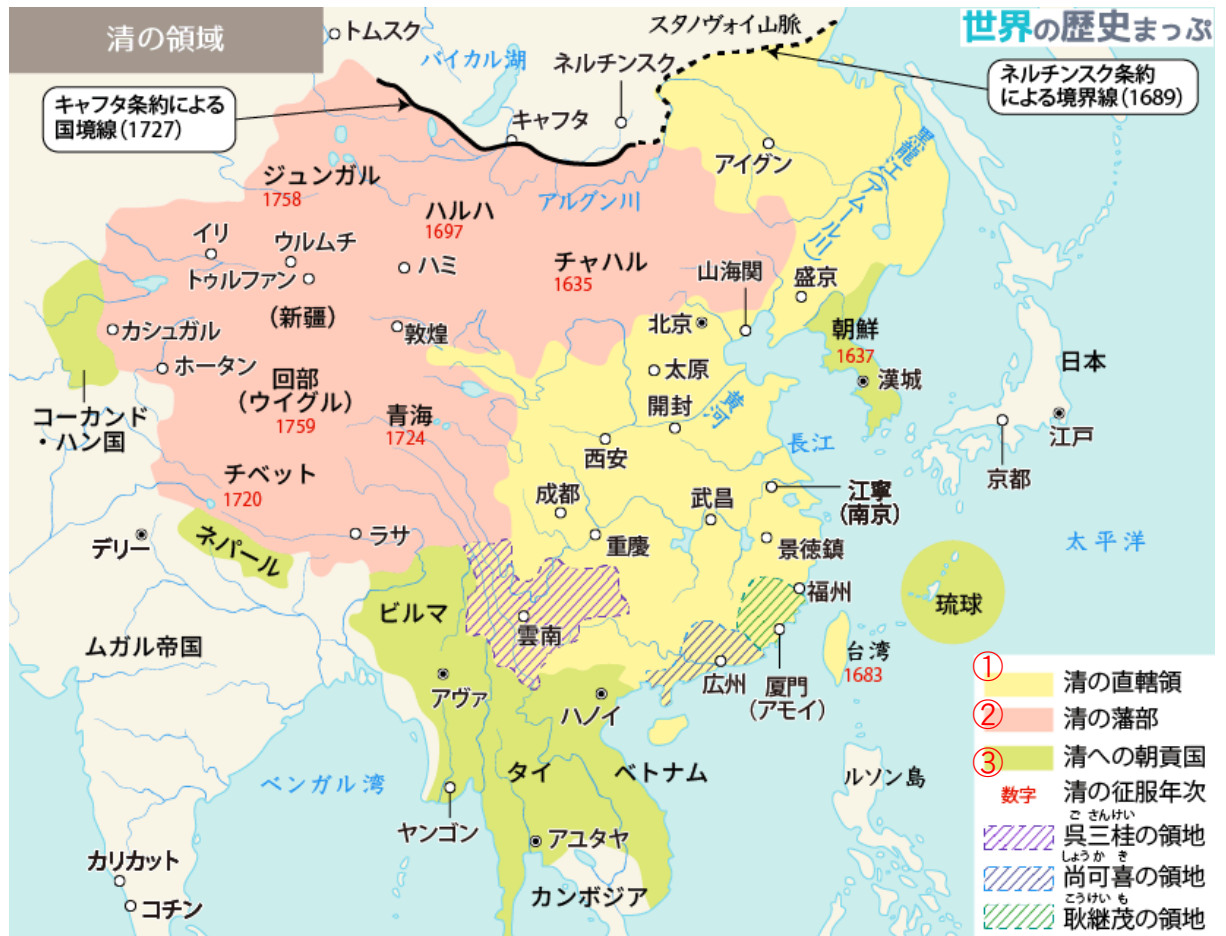
そして清国は約 100 年かけて漢人の国明帝国を滅ぼし中原の覇者となります。

異民族満州人による大清帝国の始まりです。

満州人は漢人に対しては、戦い滅ぼしたという存在なので、辮髪(べんぱつ)の強要など、彼らを被支配民族として遇したことは皆さまがご存じの通りです。



大清帝国の領土拡張、その中での民族居住地域。 大清帝国の民族構成と皇帝との関係。



山川出版高校の教科書より

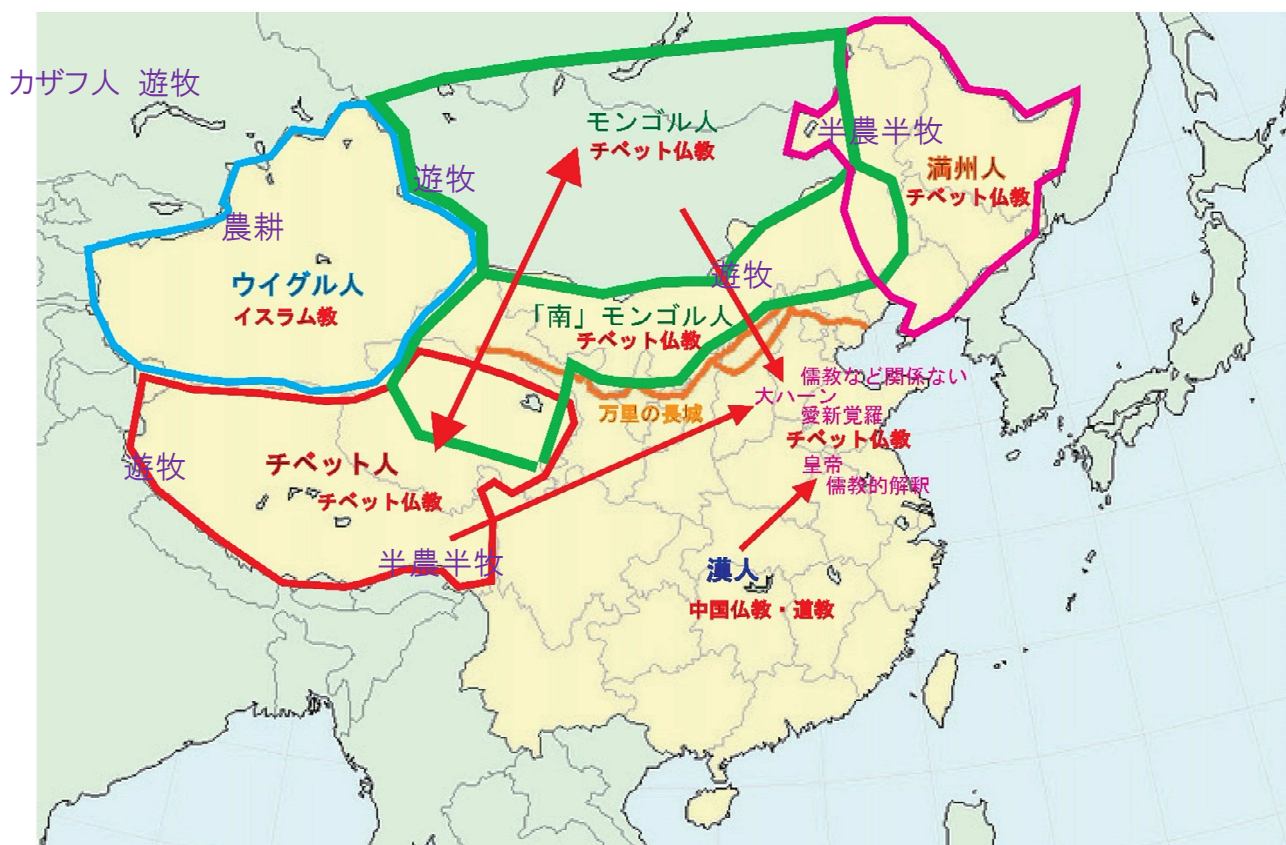
さすがに、高校レベルになると、学術的になってきます。しかし、多少の批判を込めて少し補足します。

清国への朝貢国の中に琉球が入っているのが山川ですね。モンゴルの表記が無いのもおかしいです。現在の歴史学では沖縄は勿論朝貢国です。しかし、この大きな●印では属国のイメージを持てしまいます。どこの国の教科書？と思うくらい中華プロパガンダに毒されていますね。

山川教科書で言う直轄領と藩部の違い。そして朝貢国。

- ① 直轄領の内、満州は皇帝先祖の土地であり、ある種の聖域。漢人の住む旧明国地域は征服した地域。のちに直轄地となるウイグルは地方長官のみ派遣する緩やかな統治地域。
- ② 藩部のモンゴルとチベットは、征服地域ではなく、愛新覚羅氏を大ハーンとして認め諸侯として仕える独立した地域。彼らから見ると満州人の王朝は明の皇帝とは全く違う遊牧民の大ハーンという認識です。
- ③ そして、朝貢国とは、大清帝国の経済圏に入りたい国々と分類されます。
朝貢国が清国皇帝と結ぶ冊封とは属国契約ではありません。
同様に沖縄と朝鮮が属国であったわけではありません。朝鮮は反抗し懲罰され属国に近かったですが琉球は征服されたわけではありませんし、貿易のために、自主的に朝貢しました。
ベトナムなどは、侵攻にも屈せず、しぶとく独自の文化を発展させます。

ここで、いまに繋がる民族に焦点をあてて、大清帝国のざっくりとした民族地図を描いてみます。



●ここで強調したいのは、宗教についてです。これは今につながる重要な要素です。

モンゴルとチベットは 12 世紀ごろよりチベット仏教を通じて共通の歴史を育んでゆきます。モンゴル人がチベット仏教徒となることで、一つの文明圏が漢人の周辺に成立します。ダライ・ラマとは大海を表すモンゴル語のダライと師を表すチベット語のラマが合わさった言葉で、モンゴルの大ハーンが命名しました。

そして、満州人のマンジュという言葉は文殊菩薩からきており、満州皇帝は文殊菩薩の化身とされていました。この点で、清朝ではチベット仏教を国教とし、宮廷には数多くのチベット・モンゴル僧が入ることとなります。映画ラストエンペラーでの紫禁城のシーンを思い出してください。たくさんのチベット僧が出てきました。

そして、清には服従しますが、ウイグル人は緩やかな統治のもと独自のイスラーム文化を育んでいくことになります。民族自体がトルコ系であり、言葉もトルコ系です。特に漢字を使う必要もなく、清国では漢人の影響は全く受けていません。清朝の統治の間、漢人との接点は商売くらいのものでした。

このように、大清帝国とは、愛新覚羅満州皇帝を頂点とする緩やかな連邦制国家のようなものだったことがわかります。しかし、近代国民国家ではないので、今の感覚で民族をとらえるのも 100%正しいわけではありません。当時を知るのに大切な事は宗教グループでしょう。民族の概念も近代のものですから。

ただ、ここでいえることの一つは、現在中華人民共和が引き継いでいる領土は、漢人の物ではなかったという事です。このように、満州人ですら 100%の直轄統治をしていなかったのですから。

では、今ある「一つの中国」という欺瞞はなぜ生まれたのでしょうか？

日清・日露戦争後に我が国が勝利したことによって大陸のパワーバランスが崩れます。そのドサクサに中華民国なる旧明朝地域での共和国が成立します。(以降、満州王朝を倒した責任は大日本帝国も負います)

●最大の元凶は孫文：1921年 三民主義の具体的方策の中でとんでもない虚構を述べます。

「漢族ヲ以テ中心トナシ、滿蒙回藏四族ヲ全部我等ニ同化セシム」、「漢滿蒙回藏ノ五族ノ同化ヲ以テ一個ノ中華民族ヲ形成シ、一ノ民族国家ヲ組織シ・・・」

極悪人孫文と国民党政府は「漢人」が頭となり他四民族を同化する「中華民族」をつくる事をテーゼとします。

●共産党ではなく、民族として漢人が他民族を同化しようとし始めた現実を見ないといけません。

今も中国共産党が盛んに使う「中華民族」はこの時生まれ、漢人が清朝を引き継ぐという嘘の始まりでした。日本人も満州人の元で安定していた社会が、漢人が支配欲をもつてのさばり出すことに、我慢ならなくなります。辛亥革命など、大日本帝国の勝利のタナボタでもらった独立。漢人の権力闘争でしかありません。

1940年の地図。大日本帝国は戦勝国の責任として、何とか旧清朝地域の安定を目指します。



このように、歴史の流れをつかめば、日本が大陸を侵略したとかの自虐史観で、いかに思考停止を招いているかが分かります。日本人はあくまでも戦勝国の責任として平和を打ち立てるため、大陸に出かけたのです。

大東亜戦争に至る歴史は、割愛して、開戦直前の諸民族はどういう状態だったか、ざっくり説明します。

- ① 満州人：もともと皇帝以下、漢字を使い中国古典を学んできているので、漢人との同化が進んでいた。
- ② 南モンゴル人：帝国陸軍士官が多数おり、日本の影響を受けて独立の機運が高まる。日本が満州内に囲い込む中、不満が高まるが、1939年日本の支援の元、何とか自治政府を設立し独立を目指す。
- ③ モンゴル人：すでにソ連の影響下にあり、共産化が進む。漢人との交流を断つ。ロシア文明の影響下。
- ④ ウイグル人：1933年2月タリム盆地南部のホタンで、ムハンマド・アミン・ブグラが蜂起し、漢人官僚を一掃して、ヤルカンド、カシュガルへ進軍し、1933年11月に東トルキスタン・イスラーム共和国を樹立した。ソ連の影響下、1944年にも第二次東トルキスタン共和国が建国される。漢人との交流はない。
- ⑤ チベット人：近代化の模索を始める、ダライ・ラマ13世の死後、政治的空白が続くが、独立は維持する。

●そして、我々の敗戦により、国共内戦、そして、一党独裁国家中華人民共和国の成立となります。

現在の民族分布の現状と、民族弾圧を正当化するための中共プロパガンダ（数値はウィキペディアより）



- ① 中華民族という嘘: 漢族・ウイグル族・チベット族・内モンゴル族・回族・チワン族など漢人も含めてすべてを族と表記し国民としては中国人、国家としては中国と呼ぶ。NHK他日本のマスコミもこれに倣っている。
- ② 少数民族という嘘: 中国当局の発表では、ウイグル人 1100 万人、チベット人 300 万人、モンゴル人 450 万人となっている。例えばフィンランドの人口は 530 万人。誰もフィンランド人を少数民族とは呼ばない。（南モンゴル人は正確な人数が分からないし、漢人との婚姻が進みすぎ同化の危機にある）
実際、ウイグル人は 2000 万人以上いるのではといわれているが、中国政府は本当の数字を絶対に発表しない。本当は、東トルキスタンもチベットも十分に独立できる人口である。なお、満州人は同化完了。
- ③ 分裂主義者: このレッテルを貼られると死刑となる。中国を分裂させる極悪人。一つだった歴史がある？

● 民族の現状: 日本人よりも文明的に漢人と関係性の低い三民族（韓国人のように漢人化文明ではない）

- ① 南モンゴル人: 日本に協力したことにより懲罰を受けた歴史がある。モンゴル共和国のモンゴル人とは違い、かなり漢化が進み、名前も漢字だったり、言葉も失っていたりしている。一番同化の危機にあります。
- ② チベット人: 本国での虐待は続くが、インドのダラムサラにダライ・ラマ法王がおられることが精神的支柱となっている。亡命後も民族を保つ宗教とコミュニティがある。
- ③ ウイグル人: イスラム教とともに独自の文化を持っていることで、漢人に徹底的に弾圧されている。民族としてはトルコ系なので、亡命者もトルコに一番多く居住する。3か月もすればトルコ語をマスターできるというほど近い民族。しかし、エルドアン大統領も中国寄りの姿勢を見せていて、トルコでの生活にも不安が広がっている。よく誤解されるが遊牧民ではなく、農耕民族であり、日本人に近い文化である。